

第1期中期経営計画 評価委員会での意見(集約) 2020年度下期

4つの 経営戦略	11の 重点項目	第1期で取り組む内容(概要)	評価委員会の意見(集約)
<p>経営戦略1</p> <p>安全・安心なサービス提供と必要なサービス開発、見直し</p>	<p>主人公</p>	<p>№1 意思決定支援の推進と実践</p> <p>2 質の高い個別支援計画</p> <p>3 障がい理解の研鑽</p>	<p>1 年度評価A～Cまでをつけるわけだが、今の様式では各事業所の評価までは分からない。例えば、スモールエー(a)、スモールビー(b)等を用いて各事業所の評価を行い、その総評として年度評価A～Cをつけてはどうか。</p> <p>2 利用者の声に耳を傾け、努力している姿勢が感じられる。数値的に評価することは難しいと思うが、努力を続けることが大切。アンケートはひとつの手段として有効だと思われる。</p> <p>3 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	<p>安全・安心なサービス提供</p>	<p>4 権利擁護、虐待防止の推進</p> <p>5 感染症対策</p> <p>6 防災・防犯対策</p> <p>7 健康管理対策</p> <p>8 食事提供対策</p>	<p>4 3年でこういった成果を出せたのは素晴らしい。改善の取り組みが本物になったといてもよいのではないかと。次期の計画では、全職員が「これならできる」という感覚を持てるようお願いしたい。</p> <p>5、6 虹の会、ゆたか会、たかしま会、杉山の家の4法人で、災害時の応援協定を結んだと聞く。こういった取り組みは、次期に策定されるBCPIにも盛り込まれるだろうから、評価の対象としてもよいのではないかと。</p> <p>7 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>8 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	<p>必要なサービス開発と見直し</p>	<p>9 新規ホームの整備</p> <p>10 精神障がい者支援の強化</p> <p>11 新たな分野への事業参入</p> <p>12 就労・生活支援事業のあり方</p>	<p>9 上期にも指摘があったが「必要なサービス開発と見直し」という観点で述べるなら、「ホップ」の事業実施場所(建屋)に疑問の声を聞いたことがある。必要なサービスなので、実施場所を見直してもよいのではないかと。</p> <p>10 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>11 12 これらの項目の協議は昨年度で一旦終了したが、必要があれば協議を再開してもよいのではないかと。</p>
<p>職員の確保</p>	<p>職員の確保</p>	<p>13 多様な人材の雇用</p>	<p>13 事務局の報告に対して、評価委員からの</p>

<p>経営戦略2</p> <p>人を育て、人を活かし、人を大切にする職場づくり</p>		<p>14 新卒採用活動</p> <p>15 職員配置</p>	<p>質問、意見は特になし。</p> <p>14 第1期中期経営計画の期間中、計7名の新卒者を採用できたとのことだが、7名という数字は法人として足りているのか否かが分からない。次回からは雇用計画を示し、そのあたりが明確になるようにしていただきたい。</p> <p>15 体制変更に関して、現場の感覚と法人の感覚に違いはないか。</p>
	人財の育成	<p>16 キャリアパス</p> <p>17 階層別研修の実施</p>	<p>16、17 キャリアパスに関して、定年再雇用者とのパワーバランスに配慮が必要ではないか。</p>
	働きがいのある職場環境の構築	<p>18 いきいきと働ける風土</p> <p>19 福利厚生・諸手当、休暇等の充実</p> <p>20 人事評価制度の効果的な運用と給与体系</p>	<p>18、19 職員の「コミュニケーション」に関する意識調査で、満足・概ね満足が81%というのは低い。割に不満があるということになる。満足・概ね満足が95%以上でないといけない。ただ、このようなアンケートの実施は非常に良いことなので、事業所単位でまとめてみてはどうか。</p> <p>20 管理職には部下からも評価できる360度評価を実施してみてはどうか。</p>
<p>経営戦略3</p> <p>透明性、安定性、効率性を追求した経営マネジメントの実践</p>	組織統治と内部統制機能の構築	<p>21 内部管理体制の整備</p> <p>22 法令遵守</p>	<p>21、22 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	健全で安定した財務基盤づくり	<p>23 中期資金計画</p> <p>24 施設整備計画</p> <p>25 大規模修繕計画の作成と実行</p>	<p>23 年度ごとの予算と実績を対比したデータをつけていただきたい。</p> <p>24 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>25 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p>
	効率的な業務執行	<p>26 ICT活用と実践</p> <p>27 業務の効率化の推進</p>	<p>26 G-suiteの導入前と後では、職員の意識が変わっており、高く評価できる。ただし、欠けていた視点として、法人内ルールの統一、徹底が必要ではなかったか。</p> <p>27 事業所間で温度差があるのは気になるところ。マニュアルを作って終わりではなく、検証が大切。</p>
<p>経営戦略4</p> <p>共生社会の</p>	先進的な取り組み	<p>28 はたらくことを通した共生社会の構築</p> <p>29 法人内雇用に向けて</p> <p>30 関係機関との連携強化</p> <p>31 地域への情報発信を強化</p>	<p>28 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>29 事務局の報告に対して、評価委員からの</p>

実現を目指した地域貢献			<p>質問、意見は特になし。</p> <p>30 事務局の報告に対して、評価委員からの質問、意見は特になし。</p> <p>31 さまざまな取り組みの見せ方を工夫する「広報戦略」が必要ではないか。</p>
	福祉教育の充実	32 小中高等学校での福祉教育の推進	32 コロナ禍でやむを得ず取り組みができなかったのだから、評価はCではなく、「一」でよいのではないか。